

令和 5 年度 清原東小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

（1）基本目標

日本国憲法及び教育基本法にのっとり「人間尊重の教育」を基盤とし，一人一人の児童を正しく理解し，個性を尊重し，よりよき人格の陶冶を図り，「主体的で知・徳・体の調和のとれたたくましく生きる児童」を育成する。

（2）具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・心豊かで思いやりのある子ども（やさしい子）
- ・進んで学びよく考える子ども（まなぶ子）
- ・健康でたくましい子ども（たくましい子）
- ・心をつくして働く子ども（はたらく子）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「学びの連続性を踏まえ，児童が社会において自立的に生きる基礎を培う活気に満ちた学校づくり」

小学校教育は，生涯学習の基礎づくりの段階である。児童が社会で自立的に生きるために必要とされる力を身に付けることができるような教育活動を展開し，一人一人が自己実現に向けて意欲的に挑戦できる魅力ある学校の創造に向け，保護者や地域等の協働のもと，全職員が一丸となって取り組む。それぞれの持ち味や専門性，よさを発揮し，自他の創意と向上を尊ぶ教師集団であることが，活気に満ちた学校づくりの基盤である。教職員・児童が存分に力を発揮し，「楽しく，居がいがあり，互いの成長を実感できる」学校づくりに努める。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（1）学習指導の充実

○基礎的・基本的な「知識・技能」の習得，「思考力・判断力・表現力等」の育成，「学びに向かう力，人間性」の涵養を目指し，確かな学力を育む学習指導の充実を図る。

- ・「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善に取り組み，教員の指導力の向上を目指す。
- ・図書やＩＣＴ等（ＡＩ型学習ドリルを含む）を計画的・効果的に活用した教育活動の充実を図る。

（2）児童指導の充実

- ・一人の人間として尊重し自己有用感を高める指導を行い，思いやりや規範意識，やりぬく心の育成に努める。
- ・道徳教育の充実及び児童の主体性を尊重した教育活動を展開し，自己指導力の向上を図る。
- ・人権教育を推進し，いじめ防止や不登校対策，特別支援教育や外国人児童の支援を充実させる。

（3）教職員の資質能力の向上

- ・教育公務員としての使命と職責を自覚し，相互に学び合い高め合える同僚性の構築と教職員の指導力の向上を目指す。（OJT や校内研修を活用して，授業力や学級経営力の向上を図る。）
- ・業務の効率化及び長時間勤務は正に全教職員で取り組み，学校における働き方改革を推進する。

（4）危機管理意識の高揚

- ・普段から全教職員の危機管理意識の高揚を図るとともに，危機的状況に対した場合，最悪の状況を想定して初期対応を迅速かつ慎重に進め，指揮系統を明確にした対応を図る。

（5）地域と連携した活動の充実

- ・家庭や地域，企業等との協働を推進することにより，様々な教育資源（ひと・もの・こと）を生かした地域とともにある学校づくりに努める。
- ・学校公開（授業参観，土曜授業，行事等），各種便り，学校ＨＰ等による情報発信を推進し，保護者や地域との連携を図り，信頼関係の構築に努める。
- ・保護者や地域の声を学校経営に生かすとともに，家庭的な問題を抱えている児童や外国人児童への対応を関係諸機関と連携を図り，よりよい児童の育成に向けて取り組む。

清原地域学校園教育ビジョン]

自己を見つめ，自己のよさを生かした夢の実現に向けて，主体的に取り組む児童生徒の育成 2nd stage
～ 人との豊かなかかわりを通して ～

4 教育課程編成の方針

- ・公教育の立場から、教育法規関係、学習指導要領及び、県・市の教育行政の方針等を踏まえ、教育課程を編成する。
- ・教育目標の具現化を図るため、家庭や地域との連携・協力や教科横断等の視点を取り入れた「社会に開かれた教育課程」編成及びカリキュラム・マネジメントの充実に努める。
- ・義務教育9年間の学びの連続性を重視し、創意に満ちた特色ある教育活動が展開できるよう工夫する。
- ・問題解決的な学習の充実とともに、各教科等の関連を図り、言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力など学習の基盤となる能力や持続可能な社会の創り手となるために必要な資質・能力を育む教育活動の展開を目指す。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

（1）学校運営

社会を自立的に生きることができる児童の育成を目指し、人との豊かなかかわりを生かした活動に取り組むとともに、学校業務の効率化を推進する。

（2）学習指導

一人一人が基礎的・基本的な知識・技能を習得し、分かる喜びを味わいながら、主体的・対話的に学習に取り組むことのできる児童の育成

（3）児童生徒指導

基本的生活習慣を身に付け、自他のよさを認め尊重するとともに、互いを高め合う児童の育成

（4）健康（保健安全・食育）・体力

心身ともに健康で安全な生活を送るために、望ましい生活態度や習慣を身に付け、進んで健康・体力づくりに取り組む児童の育成

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通、地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1-（1） 確かな学力を育む教育の推進	A1 児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 「私は、学習課題を解決するために、友達と話し合ったり、必要な情報を集めたりしながら、じっくり考えて、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒児童、教職員、保護者の肯定的回答90%以上	① 朝の学習や授業で、漢字や計算の練習や小テストを行うことにより、基礎学力の定着を図る。 ② 学年に応じた宿題の出し方を工夫するとともに、家庭での時間の使い方を啓発し、家庭学習の習慣化を図る。（特に漢字・計算）	B	達成状況】 ・肯定的回答 児童：○92.3% 教職員：○95.5% 保護者：▲81% ・児童、教職員ともに目標数値を達成することができた。保護者は約80%に留まっている。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 発達段階に応じて授業の形態を工夫し、対話的・主体的な学習を取り入れる。また、授業参観等で協働的な学習を実践していく

1ー(2) 豊かな心を 育む教育の 推進	A2 児童は、思いやりの心 をもっている。 【数値指標】 「児童（わたし）は、誰に対 しても、思いやりの心をもっ て優しく接している。」 ⇒児童、教職員の肯定的 回答90%以上	① 問題解決的な学習や役割演技な どの体験型の学習を取り入れるこ とで道徳の「親切、思いやり」の授 業を充実させる。 ② 縦割り班遊びを行うことで、異学 年交流を充実させ、思いやりの心を 育む。 ③ 動植物の世話を通して、思いや りの心を育む。 ④ ボランティア感謝の会を通して、 地域の方への感謝の気持ちを表す。	【達成状況】 ・肯定的回答 児 童：○91.1% 教職員：○95.5% 保護者○90.6% 地域住民：○100% ・児童、教職員、保護者、地域住民のす べてで目標数値を達成することができ た。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。人権や道 徳の授業などを通して、児童同士が認 め合ったり協力し合ったりできる場 面を意図的に設定する。 ② 今年度の取組を継続する。高学年と しての自覚をもたせるために、縦割り 班での清掃や遊びを継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。教科 学習、当番活動、係活動、委員会活動など で意図的に設定していく。
	A3 児童は、目標に向かっ てあきらめずに、粘り強 く取り組んでいる。 【数値指標】 「児童（わたし）は夢や目標 に向かってあきらめずに、粘 り強く取り組んでいる。」 ⇒児童、保護者の肯定的 回答80%以上	① 自分の将来を意識して生活がで きるように「わたしの夢」を掲示し、 将来の自分への関心を高める。 ② 漢字計算オリンピックや教科体 育の各種検定、チャレンジブックな ど、児童が具体的な目標を決めて取 り組める活動を設定する。 ③ キャリア・パスポートを活用し て、家庭との連携を図り、学校だけ でなく家庭でも児童の夢や目標に ついて考えたり話し合ったりする 機会を作る。	【達成状況】 肯定的回答 児童：○89.5% 保護者：▲77% 児童は目標数値を達成できたが、保護者 は下回った。 【次年度の方針】 今年度の取り組みを継続し、HP などで 発信して保護者や地域に周知させる。
1ー(3) 健康で安全 な生活を実 現する力を 育む教育の 推進	A4 児童は、健康や安全に 気を付けて生活してい る。 【数値指標】 「児童（わたし）は、健康や 安全に気を付けて生活してい る」 ⇒児童、教職員の肯定的 回答80%以上	① 朝食食べよう週間やキラキラウ ィークの設定、お弁当カードや元気 アップカードを活用して生活習慣 や自分の健康について興味関心を 高める。 ② 各避難訓練や交通安全教室での 体験を日常生活や普段の登下校に 生かせるよう事前指導や事後指導 を充実させる。	【達成状況】 児童：○93.8% 教職員：○90.9% 児童・教職員ともに目標数値を達成す ることができた。 【次年度の方針】 ①今年度の取組を継続する。 ②今年度の取組を継続する。
1ー(4) 将来への希 望と協働す る力を育む 教育の推進	A5 児童は、自分のよさや 成長を実感し、協力して 生活をよりよくしようと している。 【数値指標】 「児童は自分の良さや考えを 生かしながら、進んで意見を 発表したり、協力したりして、 集団での課題を解決してい る。」 ⇒教職員の肯定的 回答80%以上	① 「宮未来キャリア教育」の充実を 図り、児童が自分のよさや成長を実 感し、自己有用感が高められるよ う、児童相互に認め合う場を設け るとともに、教職員も認め励ます指導 に努める。 ② 委員会活動や縦割り班活動、学級 の係活動や当番活動などを通して、 友達やクラス、学校のために自分 ができることを考え、実践できる場を 設定する。	【達成状況】 教職員：○90.9% 目標数値を達成することができた。 【次年度の方針】 ①今年度の取組を継続する。 ②今年度の取組を継続する。
2ー(1) グローバル 社会に主体 的に向き合 い、郷土愛 を醸成する 教育の推進	A6 児童は、英語を使って コミュニケーションして いる。 【数値指標】 「児童は、外国語活動（英語） の授業やALT との交流の際 に、英語を使ってコミュニケ ーションしている。 ⇒児童、教職員の肯定的 回答80%以上	① ALTを活用した、英語によるやり とりを中心とした授業を推進する。 ② 朝の会に「デイリーイングリッ シュ」を位置づけ、毎日英語にふれ させる機会を設定する。 ③ 5・6年生は、ALT との「スピー キングテスト」を年2回行い、話す 力の定着度を見取り、指導する。	【達成状況】 児童：○87.1% 教職員：○90.9% ・児童、教職員ともに目標数値を達成 することができた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。

	A 7 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 「児童（わたし）は、宇都宮の良さを知っている」 ⇒児童、保護者の肯定的回答 80%以上	① 3・4年社会科・総合的な学習の時間において宇都宮市や清原地区の自然・産業・生き物などについて調べ学習を進めることで、郷土宇都宮のよさに気づき、親しむようにする。 ② 5・6年総合的な学習において、宇都宮市の自然、産業、歴史、文化等について学習することを通して、郷土に対する誇りや愛情を育むようにする。 ④ 校内放送で「宇都宮の歌」を流したり、児童が調べた資料を掲示したりして、郷土の歴史や伝統文化などに興味をもてるようにする。	B 【達成状況】 児童：○87.7% 保護者：▲66.7 ・保護者の肯定的回答率は、昨年度より13ポイントアップしたが、依然として目標値を大きく下回っている。 【次年度の方針】 「きぶな」の絵付けやジャズなど、宇都宮の伝統文化を体験する活動を今後も継続していくとともに、文化活動や校外学習等の実践の様子を学年だよりやHPなどをとおして保護者に周知を図っていく。
2-（2） 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	A 8 児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 「児童はデジタル機器（パソコン）や図書等を学習に活用している」 ⇒児童、教職員、保護者の肯定的回答 90%以上	① 一人一台端末を積極的に学習で活用し、効果的な活用法を研究する。 ② ICT 機器や図書資料を有効活用しながら、「児童にとって分かりやすい授業」を目指して指導の工夫に取り組む。	B 【達成状況】 児童：○92.0% 教職員：○95.5% 保護者：▲76.5% ・児童、教職員ともに目標数値を達成することができた。 【次年度の方針】 ① 発達段階や児童の実態に応じてICTを効果的に取り入れた授業を実践する。 ② 今年度の取組を継続する。また、家庭への情報提供の仕方を検討する。（PDF資料と紙面資料の効果的な活用）
2-（3） 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	A 9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 「児童は、持続可能な社会について、関心をもっている」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	① 読書活動の一環として、朝の読み聞かせや教室配置の図書に、環境やエネルギー、国際理解、防災等に係る書籍を意図的に選択し、私たちの日常生活と地球規模の課題がつながっていることを感じさせる。 ⑤ 年度当初に全教職員に共通理解を図るように働きかけ、意識を高めるようにするとともに、5年総合的な学習の時間において、「環境」「国際理解」について学習する際に、SDGsについて意識できるよう配慮する。	B 【達成状況】 教職員：○95.5% ・目標値を達成することができた。教職員の肯定的回答率は、昨年度より大きく数値がアップしている 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。
3-（1） インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	A10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 「教職員は、特別な支援を必要としている児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 特別な支援が必要な児童に対して、個別の支援計画を作成・活用し、学校全体で指導にあたる。 ② 職員会議の折に、児童の情報交換を行って共通理解を図り、適切な支援をする。	B 【達成状況】 ・肯定的回答 教職員：○100% ・教職員の目標数値を達成することができた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。

3-(2) いじめ・不登校対策の充実	A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 「学校はいじめ対策に熱心に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 学校いじめ防止基本方針に基づき、常に実態把握をしながらいじめの未然防止、即時対応に努める。 ② いじめの早期発見・早期解決のため、5月、9月、11月、2月に実態調査を実施し、学期に1回教育相談を行う。 ③ いじめゼロ強調月間の取組を充実させる。 ④ 道徳の時間にいじめに関する内容を扱った授業をするなど、人権感覚の醸成を図る。	B 【達成状況】 ・肯定的回答 児 童：○97.2% 教職員：○100.0% 保護者：▲69.8% 地域住民：○100% ・児童、教職員、地域住民において目標数値を達成することができた。 ・保護者は目標数値を大きく下回った。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。保護者への啓発をはかる。 ④ 今年度の取組を継続する。道徳と関連させた体験活動を充実させる（人権週間等）。
	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 「教職員は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている」 ⇒児童、教職員、保護者の肯定的回答 80%以上	① 教職員が児童のよさを取り上げ、他の児童に紹介するなどして、自己有用感の向上を図る。 ② グループ学習や係活動で、自分の考えを活かしたり、達成感を味わえるようにしたりすることで、帰属意識の高い学級づくりを目指し、不適応反応の予防に努める。 ③ 帰りの会で児童のよい行いを互いに発表し合う活動を取り入れる。 ④ 教職員同士の情報交換を密にして、児童の些細な変化を伝え合えるようにする。	B 【達成状況】 ・肯定的回答 児 童：○95.4% 教職員：○100% 保護者：○81.4% ・児童、教職員、保護者ともに目標数値を達成することができた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。教職員がこれまで以上に児童の良さを取り上げられるように努める。 ② 本年度の取組を継続する。 ③ 本年度の取組を継続する。必要に応じて、関係機関との連携を図る。 ④ 本年度の取組を継続する。
3-(3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実	A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 「教職員は、困ったときに相談に乗ってくれたり、問題を解決しようとしていたりして、児童（わたしたち）が楽しく学校生活を送れるようにしている。」 ⇒児童、教職員、保護者の肯定的回答 90%以上	① 児童や地域の実態を踏まえて、前年度の評価結果と反省をもとに、教育課程を編成する。 ② 学校行事や児童会活動、学級活動等、児童が主体的・自立的に取り組む場を可能な限り設定する。	B 【達成状況】 児童：○96.0% 教職員：○100% 保護者：▲84.5% ・児童、教職員ともに目標数値を達成することができた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。児童の主体性をさらに重視していく。
3-(4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化	A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 「教職員は、児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細かな指導をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	① 単元や本時のめあてを明確にし、ICT機器を積極的に活用するなど、学習意欲を高めるための授業や分かる授業を工夫する。 ② 整理された分かりやすい板書計画を立てる。 ③ 少人数指導、TTによる指導、日本語指導、かがやきルームの活用などの学習状況を適切に把握し、指導の工夫・改善をする。 ④ 校内授業研究に積極的に取り組み、一人一授業公開を行う。教員同士で授業を参観し合いながら、指導法の工夫・改善をする。	B 【達成状況】 児童：○96.6% 教職員：○100% 保護者：▲81.4% ・児童、教職員ともに目標数値を達成することができた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 学習状況を適切に把握し、学級担任との連携を図る。 ④ ICTを活用して参観できる体制を整える。（一人一授業の様子を動画で記録し、共有する。）

4-(2) チーム力の 向上	A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 学校運営の方向性を明確にし、教員も専門スタッフも「チームとしての学校」の一員として目的を共有し、取組の方向性を揃えるようにする。 ② 日頃より良好な人間関係作りに努めるとともに、教職員一人一人の能力、得意分野を生かした組織作りに努め、やりがいをもって仕事ができる環境を整えていく。	B 【達成状況】 教職員：○95.5% ・目標値を達成することができた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。
4-(3) 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 教職員の毎月の時間外勤務状況を正しく把握し、必要に応じて個別の面談や医師による健康相談を実施できるようにする。 ② 業務の精選・見直し、ICT化等事務処理の効率化など長時間労働の改善のため、校務分掌の見直しを行う。 ③ 学年、ブロック、あるいは個人で「今月のリフレッシュデー」を設定するとともに、勤務時間を意識した勤務に心がけるなど、長時間勤務の改善に努める。	B 【達成状況】 教職員：▲81.8% ・昨年度より8ポイント向上しているが、依然として目標値を下回っている。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。
5-(1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 「学校は、児童や教職員の交流、小中一貫教育カリキュラムの作成・見直しなど、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒教職員、保護者の肯定的回答 90%以上	① 小中が情報を交換し合い、義務教育9年間を通した系統的な指導と地域の教育資源を活用した特色ある教育活動を推進する。 ② 小中間の交流活動を活性化することで、6年生児童がスムーズに中学校生活をスタートできるようにする	B 【達成状況】 教職員：90.9% 保護者：▲71.2% ・教職員は数値目標を達成できたが、保護者は目標数値を下回った。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続するとともに保護者・地域等への取組内容の発信強化する。 ② 今年度の取組を継続する。
5-(2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。	① 読書ボランティア、外部講師や地域ボランティアと連携した活動を各学年とも学期に1回以上実施する。 ② 各学年の校外学習をはじめとして、地域と連携した教育活動の実施に向け、「魅力ある学校づくり地域協議会」を有効に活用し、学校運営の充実を図る。 ③ 「ふれあい発見ラリー」や「6年夢実現教室」において、地域の企業や様々なジャンルで働く方々を招き、仕事に関する話や実演などを通して、児童が自らの将来に関心をもてるようにする。	B 【達成状況】 保護者：89.8% 地域：○100% ・保護者は目標値をほぼ達成することができた。地域は目標値を達成することができた。 【次年度の方針】 ① ボランティアバンクを作成し、学校支援ボランティアの充実を図る。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。
5-(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進	【数値指標】 「学校は家庭・地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者・地域の肯定的回答 90%以上		
6-(1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている」 ⇒保護者、地域の肯定的回答 80%以上	① 毎月一回安全点検を実施し、学校環境における潜在的危険を点検観察し、児童が常に安全な環境で学習活動が行えるように努める。 ② 特に児童が多く活動を行うと思われる箇所の設備等においては日常的に点検を行い、必要に応じて修繕等を迅速に行うよう努める。	B 【達成状況】 保護者：○87.3% 地域：○90.9% ・保護者・地域ともに数値目標を達成することができた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する

6- (2) 学校のデジ タル化推進	A20 コンピュータなどのデ ジタル機器やネットワー クの点から、授業（授業 準備も含む）を行うため の準備ができています。 【数値指標】 「児童はICT機器を学習に 活用している」 ⇒児童、教職員の肯定的 回答90%以上	① 一人一台端末活用研修やプロ グラミング教育の研修を行い、授 業での積極的な活用を図る。 ② ICT機器が使いやすい環境 整備に努める。また、ICT支援 員を有効に活用して児童が基礎 的なスキルを身に付けられるよ うにし、日常的に一人一台端末を 使用できるようにする。	B 【達成状況】 教職員：○100% ・教職員の目標数値を達成することが できた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② ICT支援員と連携し、引き続き有効 活用していく。
小・中 学 校、地 域 学 校 共 通、本 校 の 特 色・ 課 題 等	B1 児童は、時と場に応じ たあいさつをしている。 【数値指標】 「児童は、時と場に応じたあ いさつをしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上 ⇒保護者、地域の肯定的 回答80%以上	① 地域と連携した朝のあいさつ運 動を行う。 ② 生活委員によるあいさつ運動や、 あいさついっぱい週間を行うなど、 あいさつ運動に積極的に取り組む。 ③ 教職員が率先してあいさつをす ることで、あいさつがしやすい雰囲 気を醸成する。	B 【達成状況】 ・肯定的回答 児 童：○93.8% 教職員：○90.9% 保護者：○80.5% 地域住民：○100% ・児童、教職員、保護者、地域住民のす べてで目標数値を達成することができ た。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組は継続する。 ③ 今年度の取組は継続する。率先垂範 を心がけ、教職員が手本を示し、あいさ つの活性化を図る。
	B2 児童は、きまりやマナ ーを守って、生活をして いる。 【数値指標】 「児童は授業と生活の決まり やマナーを守って生活してい る」 ⇒児童、教職員の肯定的 回答80%以上	① 「清原っ子みんなのやくそく」と 「清東小スタンダード」をもとに週 の生活目標などに掲げながら、基本 的生活習慣を身に付けさせていく。 その中でも、「廊下は歩く」「時刻 を守る」など、学校生活で中心とな るきまりについて、教職員が足並み を揃えて指導していく。	B 達成状況】 ・肯定的回答 児 童：○94.2% 教職員：○90.9% 保護者：○91.8% 地域住民：○100% ・児童、教職員、保護者、地域住民のす べてで目標数値を達成することができ た。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。学級内で 発達段階に応じた指導を行う。生活当番 制を活用しながら、きまりやマナーの指 導を全教職員で行う。
	B3 地域や学校、友達のため になるような行いをし ている。 【数値指標】 「私は、地域や学校、友達のため になる善い行いをしたこと がある」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 帰りの会などでよい行いを認め 合い、奨励することにより、意識の 高揚を図る。 ② 特に顕著な行いは、「宮っ子心の 教育表彰」で表彰し、学校全体で善 行を共有する。	B 【達成状況】 ・肯定的回答 児 童：○89.8% 教職員：○95.5% 保護者：▲73.8% 地域住民：○100% ・児童、教職員、保護者、地域住民のす べてで目標数値を達成することができ た。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。継続的な 活動になるようにする。 ② 今年度の取組を継続する。
	B4 食後の歯磨きの大切さ を知り、丁寧に磨いてい る。 【数値指標】 「私は、食後ていねいに歯磨 きをしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 「児童は、食後の歯磨きの大切 さを知り、丁寧に磨いてい る」 ⇒教職員、保護者の肯定的 回答80%以上	① 給食後の歯磨きタイムを充実さ せ習慣化を図る。 ② 学級活動や保健学習の時間を活 用し、養護教諭と連携しながら、歯 の健康について発達段階に応じて 丁寧に指導し、理解を深める。 ③ 元気アップカードや健康診断の お知らせ等を通して家庭と連携、協 力する。 ④ 保健だよりで学校での歯磨き指 導の様子を知らせ、歯磨きの意義に ついて周知を図る。 ⑤ 休日の歯磨きの定着を図るため に、長期休みに歯磨きカレンダー を配付し、毎日の歯みがき習慣 を継続する。	B 【達成状況】 教職員：○90.9% 保護者：▲73.8% 教職員は目標数値を達成することがで きたが、保護者は目標数値を下回った。 【次年度の方針】 ①今年度の取組を継続する。 ②今年度の取組を継続する。 ③今年度の取組を継続する。 ④今年度の取組を継続する。 ⑤今年度の取組を継続する。 保健だよりで長期休業中の歯磨き カレンダーの実施状況を掲載する。

	B5 互いに協力して学習することにより、考えを深め合っている。 「私は、話し合い活動することにより、友達の考えや思いがよく分かる」 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 「児童は、互いに協力して学習することにより、考えを深め合っている」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 学習活動の中で自分の考えを書いたり伝えたりする時間を意図的に設定し、自分の考えを深めたり、友達の考えのよさに気付いたりできるようにする。 ② 各教科の授業で、言語活動（人前で話したり意見や考えを表現したりする活動）の充実を図る。 ③ ペア・グループ学習などの学習形態を工夫し、学び合いのよさを意識させる活動を取り入れる。	B 【達成状況】 児童：○95.1% 教職員：○90.9% ・児童、教職員ともに目標数値を達成することができた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。児童同士の考えを教師が意味づけたり繋いだりすることで考えを深めさせる。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。
	B6 様々な自然や人々とふれあい、体験する機会を作り、豊かな感性や人とかかわる力を育てている。 【数値指標】 「児童は、他の学年の人や地域の人たちと一緒に活動するとき、進んで活動している。」 ⇒児童、教職員、保護者、地域の肯定的回答90%以上	① 地域探検や夢実現教室、ふれあい発見ラリーなどの活動を通して、地域の自然や文化財等を活用するとともに、様々な人々とふれあう機会を設定する。 ② ホームページや学校だよりなどを活用して、地域教材を利用した学習や行事について保護者へ周知し、学校の取組について理解が深まるよう努める。 ③ 自然や人々とふれあい、体験する機会を作るために、PTAや保護者、地域の団体などに学習や行事の協力をお願いする。	B 【達成状況】 児童：○90.8% 教職員：○90.9% 保護者：▲82.6% 地域：○100% 児童教職員地域は目標数値を達成することができたが、保護者は目標数値を下回った。 【次年度の方針】 ①今年度の取組を継続する。 ②今年度の取組を継続する。 ③今年度の取組を継続する。 ③の取組を PTA の学年委員などを活用して、学習や行事の協力をお願いする。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

本校では、学校目標として「主体的で知・徳・体の調和のとれたたくましく生きる児童の育成」を掲げ、「学びの連続性を踏まえ、児童が社会において自立的に生きる基礎を培う活気に満ちた学校づくり」を学校経営の理念として、保護者や地域等の協働のもと、全教職員が一丸となって取り組んでいる。

今年度は、コロナ禍による制限が緩和されたことに伴い、対策を施しながら特色ある体験的活動や交流活動に取り組んできた。児童は、保護者や地域の方々、地元企業や経営者等との交流を通して、多くの貴重な体験を積むことができた。

学校マネジメントアンケートの肯定的回答率は、児童はほぼすべての項目で目標数値を達成し、市平均も上回っている。市平均を下回った4項目においても肯定的回答率は95%を超えている。

一方、保護者は18項目中12項目において目標数値を達成することができなかった。特に「いじめ・不登校への取り組み(A11・12)」については、校内及び関係機関と連携した組織的な取組を継続・強化するとともに、保護者との連携をより深め、情報共有や相談の機会を増やすなど、未然防止や個別案件の早期発見・解決に努めていきたい。

また、「宇都宮の良さ(A7)」「学習指導(A14)」「小中一貫の取組(A17)」「目標に向かって粘り強く取り組む(A3)」については、具体的な取組をさらに充実させるとともに、各種たよりや学校HPなどで積極的に発信していきたい。

教職員は、多くの項目で目標値を達成したが、「勤務時間を意識した業務の効率化への取組(A16)」が81.8%と課題を残した。業務の精選や校務分掌の見直しなどの具体策を推進して、教職員の健康保持や児童に向き合う時間の確保に努めていきたい。

7 学校関係者評価

- ・保護者のみ評価が厳しい。それぞれの取組を充実させることは重要であるが、同時に「知ってもらうための」情報発信も充実させていくべきである。
- ・「宇都宮の良さ」について、より知ってもらうために、本校の特色的な活動である「氷室発見ラリー」をより充実させるとよい。PTAの広報も活用し周知することで、保護者にも活動の詳細を知ってもらえる。
- ・学校で発生したいじめ・不登校等について、その都度対応していることは理解できるが、保護者としては経過も詳細に伝えてほしい。
- ・コロナ禍による制限が緩和されたことに伴い、地域行事も復活してきた。休止期間が長かったため手探り状態であったが、次年度以降より多くの子どもたちが参加してくれるよう工夫・改善を図っていきたい。
- ・地域として、子ども達の居場所つくりと安全見守りを今後も継続していきたい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・次年度も本校の特色である「キャリア教育」を核とし、保護者・地域・企業等と連携しながら学校教育目標の具現化に向け今年度と同様の方針及び重点目標で学校運営を行う。
 - ・児童が明るくいきいきと学校生活を送ることができるよう、児童の自己肯定感を高めるための言葉かけや活動支援を継続して行い、一人一人のよさや可能性を伸ばし、主体的に困難に立ち向かうことができる児童の育成に努めていく。
 - ・学習指導においては、「宇都宮モデル」を踏まえた基本的な学習態度の徹底を図り、「ICTを活用して、児童が主体的に学習に取り組む授業の工夫」や「協働的な学び合いの充実」に継続して取り組み、各教科において重点的に推進する。
 - ・いじめ対策については、あらゆる教育活動を通じて「絶対に許されない」ことであることを、全教職員が共通認識のもと継続指導するとともに、「アンケート調査」、「教育相談」、「いじめゼロ集会」、「ケース会議」、「SCの活用」などにより、不登校対策と併せて未然防止、早期発見・解決に努める。
 - ・保護者や地域への情報発信や啓発について、取組に対する認識が不十分な項目が見られたため、有効な方法や内容、時期等を検討し、周知を図る。
 - ・教職員が健康でいきいきとやりがいをもって勤務し、質の高い教育を行うために、事務作業の縮減等の負担軽減策を検討し、保護者や地域の協力を得ながら実践する。
- 小中一貫教育・地域学校園に関する取組については、児童に対して、活動内容だけではなく目的や意義等についても十分に説明するとともに、保護者や地域に対して効果的に情報発信する。